
『夢の中の過去』

零那

暁～小説投稿サイト～ By 肥前のポチ

<http://www.akatsuki-novels.com/>

注意事項

このPDFファイルは「暁々小説投稿サイト」で掲載中の小説を「暁々小説投稿サイト」のシステムが自動的にPDF化させたものです。

この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「暁々小説投稿サイト」を運営する肥前のポチに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『夢の中の過去』

【作者名】

零那

【あらすじ】

過去の君、

僕、

未来・・・

『In』

夢の中で出会った君は、過去の君と変わらない。

強いて言えば、家の場所や構造が違ってたくらい。

君に言われた通り、僕は過去の君を救おうとしたんだ。

ありとあらゆる手段を使い果たした。

君は満足？

幻影を殺しただけにしか過ぎない。

警察は、現実世界でも夢の中でも何もしなかった。

君は、こんな世界で生きてることに苦しんだ。

君を助けてくれる人は誰も居なかった。

厄介者扱いで問題児扱い。

誰がこんな君にした？

本来、君はこんな君じゃない。

周りの皆が君を変えた。

真っ白だった君を、段々灰色にして、そして、真っ黒に。

本来の君は、こんな君じゃない。

こんな場所で、立ち止まって膝抱えて、泣いてるだけの君じゃない。

拳握り締め、怒りや憎しみを生きる糧にしてきた君。

立ち上がれ。

這いつくばってでも進め。

奈落の底から這い上がれ。

負けてたまるか。

君に悲しい涙は似合わない。

例え、死より苦しい道を歩んできたとしても・・・

君には怒りの涙が似合う。

怒り憎しみ、殺意、悔しさからの涙・・・

何より君らしい涙。

思い通りにいかないのは当たり前。

生きてると付加価値はついてくるのか？

生き続けると幸せや自由は掴めるのか？

そんな疑問を抱き、過去の君とサヨナラしたんだけど・・・

何か教えてあげべきだったかな？

君の未来は、一応それなりに悪くないよ・・・と。

君の過去に比べれば、これくらいの不自由はマシだろうから。

過去の君も、今の僕も、同じ。

何故か、ほんのちょっとだけ、自由の欠片を手に入れた気がした。

なにひとつ、何も手にしていないのに・・・

『You & I』

君はいつまでも
僕を否定する為
仕組まれた様に
現れては消える

僕はどうすれば
君から解放・・・
いや、解放など
在りはしない・・・

一緒に逝こうか
何度そう思った
僕も君も欠陥品
完成など来ない

足りない部品同士
それでも足りない
何の価値もない
君と僕、哀しいね・・・

でも、どこまでも
一緒だから
君と僕は

離れられない

解放など・・・

在りはしない・・・

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
http://www.akatsuki-novels.com/stories/index/novel_id~11408

『夢の中の過去』

2015年02月18日 18時02分発行